



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月30日

上場会社名 リョービ株式会社  
 コード番号 5851  
 代表者 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 取締役 常務執行役員財務担当

上場取引所 東証一部  
 URL <http://www.ryobi-group.co.jp/>

吉川 進

TEL (03)3501-0511

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	161,762	7.0	10,515	△11.1	10,457	△14.2	6,070	△22.7
19年3月期第3四半期	151,239	21.0	11,831	23.3	12,188	23.0	7,853	26.9
19年3月期	204,671	—	16,353	—	16,408	—	9,877	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	36	25	—	—
19年3月期第3四半期	46	86	—	—
19年3月期	58	92	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	206,041	77,134	37.0	456 95
19年3月期第3四半期	196,431	73,453	36.9	432 30
19年3月期	202,528	75,757	36.9	445 93

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	2,016	△ 12,772	5,690	12,550
19年3月期第3四半期	14,234	△ 9,306	△ 4,095	17,030
19年3月期	22,119	△ 17,702	△ 3,120	17,611

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)			
19年3月期	円 銭 —	円 銭 12 00	円 銭 12 00
20年3月期	6 00		12 00
20年3月期(予想)		6 00	

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	212,500	3.8	14,200	△13.2	13,700	△16.5	7,900	△20.0	47	23

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	121,315	7.6	8,802	△7.4	9,394	△8.7	5,663	△8.8
19年3月期第3四半期	112,741	22.7	9,502	33.1	10,288	31.5	6,208	30.7
19年3月期	154,666	—	13,410	—	14,415	—	8,341	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	33	82	—	—
19年3月期第3四半期	37	00	—	—
19年3月期	49	72	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第3四半期	159,489		64,886		40.7		389 08	
19年3月期第3四半期	151,205		61,725		40.8		367 90	
19年3月期	155,566		63,725		41.0		379 83	

2. 平成20年3月期の個別業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	160,500	3.8	11,400	△15.0	11,900	△17.5	6,900	△17.3	41	25

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページの「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期のわが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善などはあるものの、原油価格の高騰、改正建築基準法による住宅着工件数の減少などにより、景気の減速感が強まりました。また、サブプライムローン問題が米国経済はもとより世界の経済に波及しています。特に年末にかけては、その様相が強まり、円高ドル安が進行し、輸出産業に影響が出始めています。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行しました。その結果、当第3四半期は前年同期に比べて増収ながら減益となりました。

売上高は1,617億62百万円（前年同期比7.0%増）となりました。事業別では、ダイカスト事業が1,100億64百万円（同7.8%増）、印刷機器事業が310億55百万円（同6.9%増）、住建機器事業が206億42百万円（同2.6%増）でした。ダイカスト事業は日米の自動車メーカー向けが堅調で増収となりました。印刷機器事業は、欧州、米州、アジア向けなどの輸出が好調でした。住建機器事業は、パワーツール、建築用品ともに増加しました。

利益については、売上高の増加、コストダウンの推進、生産性の向上などに努めましたが、原材料価格の高騰や減価償却費の負担増などにより減益となりました。営業利益は105億15百万円（前年同期比11.1%減）、経常利益は104億57百万円（同14.2%減）、四半期純利益は60億70百万円（同22.7%減）となりました。事業別の営業利益は、ダイカスト事業が51億18百万円（同14.4%減）、印刷機器事業が40億22百万円（同6.5%減）、住建機器事業が13億75百万円（同11.6%減）でした。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、流動資産ではたな卸資産の増加、固定資産では有形固定資産の増加などにより前期末に比べ35億13百万円増加し、2,060億41百万円となりました。

負債は、借入金の増加などにより前期末に比べ21億36百万円増加し、1,289億7百万円となりました。

受取手形割引高を除いた有利子負債残高は前期末に比べ91億17百万円増加し、474億48百万円となりました。純資産は当四半期純利益60億70百万円の計上による増加や配当金30億16百万円の支払いによる減少などにより771億34百万円となりました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は762億4百万円となり、自己資本比率は37.0%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加額の減少や法人税等の支払額の増加などにより前第3四半期に比べ122億18百万円減少し、20億16百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより127億72百万円を支出しました。

その結果、フリー・キャッシュ・フローは107億56百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、フリー・キャッシュ・フローの支出に充当するため借入金で調達し、56億90百万円の収入となりました。

これらにより当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ50億61百万円減少し、125億50百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

原油など原材料価格の高騰、米国の景気減速、為替・金利の変動など、経営環境の不透明感は一層増大しています。当社グループとしては、このような状況の中で売上高の拡大、生産性向上、業務効率化などに注力してまいります。

通期業績予想につきましては、平成19年11月9日（平成20年3月期中間決算発表時）の発表値に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・固定資産の減価償却の方法……年度見込額のうち当四半期分を計上しています。
- ・法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした予測税率により計算しています。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の建物（建物附属設備を除く）の減価償却の方法については、従来、定率法を採用していましたが、当連結会計期間からは定額法に変更しています。この変更は、平成19年度の法人税法の改正を機に建物の用途及び使用状況を見直したところ、建物は収益や設備の稼動状況に左右されず、長期安定的に使用されており、その資産価値は均等に減価していることと見込まれること、及び取得後発生する追加費用についても資本的支出に該当する場合が多く費用計上の通増が認められないことから、費用の期間配分をより適正に行うためのものです。

また、法人税法の改正に伴い、当連結会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産及び金型について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円未満切捨て)

科 目	前連結会計年度末 (19. 3. 31)		当第3四半期末 (19. 12. 31)		比較増減	前第3四半期末 (18. 12. 31)	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %		金 額	構成比 %
(資産の部)							
流動資産	110,574	54.6	111,081	53.9	507	108,441	55.2
現金及び預金	17,004		10,411		△ 6,592	15,666	
受取手形及び売掛金	47,130		48,010		880	49,838	
たな卸資産	38,398		42,512		4,114	36,777	
その他	8,041		10,146		2,105	6,157	
固定資産	91,954	45.4	94,960	46.1	3,005	87,990	44.8
有形固定資産	73,028		76,606		3,578	69,000	
無形固定資産	1,990		2,056		66	1,921	
投資その他の資産	16,936		16,297		△ 638	17,068	
資産合計	202,528	100.0	206,041	100.0	3,513	196,431	100.0

科 目	前連結会計年度末 (19. 3. 31)		当第3四半期末 (19. 12. 31)		比較増減	前第3四半期末 (18. 12. 31)	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %		金 額	構成比 %
(負債の部)							
流動負債	99,057	48.9	97,046	47.1	△ 2,011	96,721	49.2
支払手形及び買掛金	49,956		51,037		1,080	49,661	
短期借入金	24,114		28,054		3,940	23,360	
その他	24,987		17,955		△ 7,031	23,699	
固定負債	27,713	13.7	31,860	15.5	4,147	26,256	13.4
長期借入金	14,217		19,394		5,177	13,874	
その他	13,496		12,466		△ 1,030	12,381	
負債合計	126,771	62.6	128,907	62.6	2,136	122,977	62.6

(純資産の部)							
株主資本	75,534	37.3	77,894	37.8	2,360	73,512	37.4
資本金	18,472	9.1	18,472	9.0	0	18,472	9.4
資本剰余金	23,750	11.7	23,750	11.5	0	23,750	12.1
利益剰余金	34,043	16.8	37,097	18.0	3,053	32,019	16.3
自己株式	△ 731	△ 0.3	△ 1,425	△ 0.7	△ 693	△ 729	△ 0.4
評価・換算差額等	△ 719	△ 0.4	△ 1,690	△ 0.8	△ 971	△ 983	△ 0.5
その他有価証券評価差額金	5,144	2.5	4,324	2.1	△ 819	5,271	2.7
繰延ヘッジ損益	△ 25	△ 0.0	△ 23	△ 0.0	2	△ 0	△ 0.0
土地再評価差額金	626	0.3	626	0.3	0	626	0.3
為替換算調整勘定	△ 6,464	△ 3.2	△ 6,617	△ 3.2	△ 153	△ 6,880	△ 3.5
少数株主持分	942	0.5	930	0.4	△ 12	925	0.5
純資産合計	75,757	37.4	77,134	37.4	1,376	73,453	37.4
負債及び純資産合計	202,528	100.0	206,041	100.0	3,513	196,431	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円未満切捨て)

科 目	前第3四半期 (18. 4. 1~18. 12. 31)		当第3四半期 (19. 4. 1~19. 12. 31)		比較増減	前連結会計年度 (18. 4. 1~19. 3. 31)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	151,239	100.0	161,762	100.0	10,522	204,671	100.0
売 上 原 価	121,655	80.4	132,805	82.1	11,150	164,519	80.4
売 上 総 利 益	29,584	19.6	28,956	17.9	△ 627	40,151	19.6
販売費及び一般管理費	17,752	11.8	18,441	11.4	688	23,798	11.6
営 業 利 益	11,831	7.8	10,515	6.5	△ 1,316	16,353	8.0
営 業 外 収 益	1,388	1.0	1,292	0.8	△ 96	1,529	0.7
営 業 外 費 用	1,032	0.7	1,350	0.8	318	1,473	0.7
経 常 利 益	12,188	8.1	10,457	6.5	△ 1,731	16,408	8.0
特 別 利 益	939	0.6	17	0.0	△ 922	965	0.5
特 別 損 失	945	0.6	182	0.1	△ 762	1,120	0.6
税金等調整前四半期(当期)純利益	12,183	8.1	10,291	6.4	△ 1,891	16,253	7.9
法 人 税 等	4,334	2.9	4,213	2.6	△ 121	6,353	3.1
少 数 株 主 損 益	△ 5	△ 0.0	8	0.0	13	23	0.0
四半期(当期)純利益	7,853	5.2	6,070	3.8	△ 1,783	9,877	4.8

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円未満切捨て)

科 目	前第3四半期 (18.4.1~18.12.31)	当第3四半期 (19.4.1~19.12.31)	前連結会計年度 (18.4.1~19.3.31)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	12,183	10,291	16,253
減価償却費	5,698	7,660	8,195
売上債権の増減額(増加:△)	△ 7,030	△ 1,002	△ 4,263
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 4,811	△ 4,185	△ 6,368
仕入債務の増減額(減少:△)	13,752	1,182	13,960
その他	△ 261	△ 3,049	△ 95
小 計	19,530	10,897	27,682
利息及び配当金の受取額	238	262	266
利息の支払額	△ 568	△ 832	△ 775
法人税等の支払額	△ 4,965	△ 8,310	△ 5,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,234	2,016	22,119
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 11,513	△ 12,030	△ 18,672
その他	2,207	△ 741	969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,306	△ 12,772	△ 17,702
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 952	3,513	△ 122
長期借入れによる収入	4,055	9,600	5,218
長期借入金の返済による支出	△ 5,697	△ 3,712	△ 6,713
配当金の支払額	△ 1,675	△ 3,016	△ 1,675
その他	174	△ 694	172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,095	5,690	△ 3,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	3	217
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	933	△ 5,061	1,514
現金及び現金同等物の期首残高	16,097	17,611	16,097
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	17,030	12,550	17,611

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

(単位 百万円未満切捨て)

	前第3四半期 18. 4. 1～18. 12. 31					
	ダイ カスト	印 刷 機 器	住 建 機 器	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	102,085	29,037	20,117	151,239	—	151,239
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	185	—	1	186	( 186)	—
計	102,270	29,037	20,118	151,426	( 186)	151,239
営 業 費 用	96,294	24,737	18,562	139,594	( 186)	139,407
営 業 利 益	5,976	4,299	1,555	11,831	0	11,831

(単位 百万円未満切捨て)

	当第3四半期 19. 4. 1～19. 12. 31					
	ダイ カスト	印 刷 機 器	住 建 機 器	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	110,064	31,055	20,642	161,762	—	161,762
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	153	—	1	154	( 154)	—
計	110,218	31,055	20,643	161,917	( 154)	161,762
営 業 費 用	105,100	27,033	19,268	151,401	( 154)	151,246
営 業 利 益	5,118	4,022	1,375	10,515	0	10,515

(単位 百万円未満切捨て)

	前連結会計年度 18. 4. 1～19. 3. 31					
	ダイ カスト	印 刷 機 器	住 建 機 器	計	消去又 は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	138,622	39,829	26,219	204,671	—	204,671
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	266	—	1	267	( 267)	—
計	138,889	39,829	26,221	204,939	( 267)	204,671
営 業 費 用	130,120	33,960	24,506	188,587	( 268)	188,318
営 業 利 益	8,768	5,868	1,715	16,352	0	16,353

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業区分の主要な製品

ダイカスト……ダイカスト製品、アルミニウム鋳物

印刷機器……オフセット印刷機、印刷周辺機器等

住建機器……電動工具、園芸用機器、ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等